

長谷川メンタルヘルス研究所 感情調節困難支援研修（2020年，2021年版）

■研修B 感情調節訓練グループ

研修Bはコロナウイルス感染症の影響により，2020年度はオンラインで実施します。概要は下記の通りです。

境界性パーソナリティ障害などで感情調節が困難な方のために，病院やカウンセリングルームで実施している「弁証法的行動療法（DBT）」を活用したスキルトレーニングプログラムについて具体的な支援法を学びます。

【講師】

遊佐安一郎（所長）・宮城整・山崎さおり
井合真海子・松野航大

【日程】

2020年11月8日（日）	感情調節および DBTの概要
2020年12月20日（日）	DBTを活用したスキル訓練 マインドフルネススキル
2021年1月17日（日）	DBTを活用したスキル訓練 対人関係スキル
2021年2月14日（日）	DBTを活用したスキル訓練 感情調節スキル
2021年3月14日（日）	DBTを活用したスキル訓練 苦痛耐性スキル

※ 各日 10:00～17:00

【参加費用】

1回15,000円 5回先払い70,000円（税別）

【申込締切】

2020年10月23日（金）

■研修A 臨床実践コース

研修Aはコロナウイルス感染症の影響により，2021年度はオンラインで実施予定です。概要は下記の通りです。

パーソナリティ障害，発達障害，摂食障害，依存症など，感情調節困難な方の理解と臨床的支援のスキル向上を図ります。

【講師】

遊佐安一郎（所長）・内田江里（副所長）

【日程】

2021年4月11日（日）	感情調節困難の理解と弁証法的行動療法，ヘルピングスキル
2021年5月9日（日）	承認，ヘルピングスキルを活用しての実習
2021年6月13日（日）	スキーマ療法とスキーマモード・ワーク
2021年7月11日（日）	DBTスキル訓練・行動連鎖分析などの変化の手続き
2021年8月8日（日）	家族支援：家族心理教育，家族のためのパワーツールなど
2021年9月12日（日）	トラウマ・インフォームド・アプローチ，症例検討

※ 各日 11:00～18:00

【参加費用】

1回16,000円 3回先払い45,000円

6回先払い84,000円（税別）

【申込締切】

2021年3月15日（月）

■基礎ワークショップ

パーソナリティ障害，発達障害，摂食障害，依存症など，感情調節困難な方の理解と臨床的支援を弁証法的行動療法などから学びます。

【講師】

遊佐安一郎（所長）

【日程】

2021年10月2日（土）10:30～17:30	「感情調節困難の理解」と「DBT概論」
2021年10月3日（日）9:30～16:30	「DBTスキル訓練・行動連鎖分析などの変化の手続き」

【参加費用】

25,000円（税別）

【申込締切】

2021年9月10日（金）

感情調節困難でお困りの方のためのグループ・セラピー（スキルアップグループ）および感情調節困難の方を抱えるご家族のためのグループ（家族スキルアップグループ），楽器奏者向けのサービス（音楽家のジストニアネットワーク）も実施しております。詳しくは当研究所のホームページをご覧ください。

【各講座の参加資格】

- 感情調節困難のケースの支援に関わっている方、
(境界性パーソナリティ障害、双極性障害、摂食障害、
発達障害、依存症、引きこもりなど)
- 守秘義務を守れる方
- 原則として全回参加可能な方（ご都合がつかない方は
申込時にご相談ください）
- ケースをまだ持っていない方は申込の際に、そのこ
とを明記して、ご相談ください。

【申込方法】

- 長谷川メンタルヘルス研究所 HP からのお申込
<http://www.positive-mh.org>
- メールでのお申込
メールアドレス erd@positive-mh.org

【会場】

長谷川メンタルヘルス研究所
東京都渋谷区代官山 17-1
代官山アドレス・ザ・タワー3階
TEL：03-5459-2188



【感情調節困難について】

境界性パーソナリティ障害等のパーソナリティ障害、摂食障害、発達障害、物質依存、双極性障害などの精神科の診断名を受けている方や、引きこもり等の生きにくさを経験している方々に共通した問題に感情調節困難があります。「感情調節困難」は診断名ではなく、そのような辛い状態を示す一つの「呼称」です。

境界性パーソナリティ障害、摂食障害、発達障害などの効果的な治療法として科学的エビデンスが豊富な弁証法的行動療法（DBT）では、感情調節困難の改善を主軸に治療プログラムを構築しています。

欧米では、DBT はこのような感情調節困難のための治療法として広く活用されていますが、高度な訓練と包括的でマンパワーも必要なこの方法を、日本でそのまま実践することは困難なようです。

日本でも活用できるような支援のあり方に関して、その考え方と実際の支援の方法、日本の臨床的風土で活用する工夫を参加者と一緒に考え、練習していきたいと思っています。

2020年、2021年 感情調節困難支援研修

境界性パーソナリティ障害、
摂食障害、発達障害など
感情調節が困難な方の理解と支援

長谷川メンタルヘルス研究所

